

令和3年度佐世保市教育センター所長挨拶

「持続可能な『学び続ける教職員文化』を目指して」

佐世保市教育センターは、本市の必要性に沿った教職員研修を担う機関です。教職員の研修は、校外研修・校内研修・自己啓発の3種に分けられます。わたしたち教育センターが担うのは校外研修です。

校外研修には、外部講師の高い知見との出会いがあります。同じ興味を抱いて参加した受講者との出会いがあります。同年代の仲間とのなつかしい出会いがあります。同じ職を担当し共通の悩みを抱くものとの出会いがあります。

わたしたち教育センターは校外研修を通して、多様な出会いを企画・運営します。そして、自己啓発という教職員による主体的な学びを引き出したいと願っています。

「子供の力を伸ばしたい」「子供の育ちを支えたい」という教職員の願い。自己啓発は、教職員の願いを起点とした、主体的な学びです。教職員の主体的な学びは、各教室等での実践と省察を繰り返し、教職員の資質・能力を高め、その力は子供に還元されていきます。

また、自己啓発は校内研修や仲間との協働の学びへと広がります。同僚や同胞との協働の学びは、さらに教職員の学びを深化させます。

協働の学びを重ねるごとに、指導技術、教育への思い、教職員としてのふるまい方などは共有され、しだいに広がっていきます。そして、言語・非言語・意識・無意識に関わらず共有された情報は、何年もかけ集団の中に積もっていきます。その集積が学び続ける教職員文化です。

経験豊富な教職員の大量退職に伴う組織の若年化は、喫緊の課題。加えて、コロナ禍により、教職員が校外研修として集い学ぶことが難しくなりました。

若手と経験豊富な世代、コロナ前の世代とコロナ後の世代。教職員の学びの文化を途切れさせず、学び続ける教職員、教えあい広めあい支えあう教職員の文化を持続可能なものにしたい。

そのためにも指導内容や技術を更新し続け、研修を創意工夫してまいります。

教職員が身につけた能力を互いに学びあい磨きあい、次世代へ恩送りする。持続可能な教職員文化をめざして。